

職場体験実習

二〇一五年は、大崎市立古川中学校と宮城県古川黎明中学校の二校の生徒さんが、職場体験実習の授業で当館へ来てくれました。

○古川中学校 二年生

七月一日～三日
参加者数…三名



●私が質問を記念館の方にしたときに感じたのは、自分の好きな、自分が楽しめることをやりながら、そのなかで人を喜ばせるための「やりがい」を見つけているなど思いました。それは、とても難しくて簡単には実現できないと分かっていました。しかし、私は将来こうなりたいです。なぜなら、

その記念館の方の目がとても輝いていたからです。

(加藤咲良さん)

○古川黎明中学校 一年生

一月一日～三日
参加者数…二名



●一月一日・二日・三日に、吉野作造記念館で活動させていただきました。その中で、私は展示資料の解説をした時間が最も印象に残っています。このような職場でなければできない仕事だと感じました。

●また、職員の方々の来館者だけでなく展示資料にも向けられている真摯な態度はとても素敵で、勉強になる姿ばかりでした。私は将来を決める良い経験になったと思っています。

(森田夏姫さん)

宮崎中学校見学

二月一日



宮崎中学校3年生の皆さんには、ミニ講演や見学を元に、吉野作造と民主主義について考えてもらうワークシートに取り組んでもらいました。未来を担う若者たちは、記念館での学習を通じてどのようなことを考えたのでしょうか。ワークシートの回答と感想の一部をご紹介します。

Q1 「自由で平等な選挙」

って、なんでなのかな？

●国民全員が参加でき、みんな一票だけを投じる選挙。
●男も女も条件が同じ選挙。
●全ての国民が自分の意志で代表を選ぶこと
●性別や身分に関係なく選挙権があたえられる選挙

●どんな人でも自分の意志で参加することのできる選挙
●誰でも参加することのできる選挙

Q2 なんで「自由で平等な」選挙でないと、民本主義が実現できないのかな？

●国民のための政治を行うには、すべての国民の意思によって政治を行うのが、一番近道だから。
●民本主義は、政治の目的が常に国民のためにあることなので、限られた人だけだったり、公平じゃなかったりすると、国民の意見が反映されにくくなり、国民のための政治ではなくなってしまうから。
●一部の人だけの意見ばかりが反映されると、国民全員の意見が通ったことにならないため、誰もが参加できない「自由で平等な」選挙でないといけないのだ。

○吉野作造記念館に 行つての感想

●日本を大きく変えた人がすぐく身近に感じられました。行動力と強い信念があつて今の日本をつくってくれたすごい人なんだと初めて感じました。
●(吉野作造は)人との関わ

りが多い人だと思いましたが。誰も成し遂げてないことをやる勇気や情熱も素晴らしく、日本のためを思つて行動していたことがよく分かりました。

参加者数…三十八名

虹の精保育園研修会

二月一日



大崎市古川の虹の精保育園(松田純武園長)では、園児の教育に吉野作造を取り入れることを目指し、園の先生方の研修会を吉野作造記念館で行いました。「知育」「德育」に力を入れる同園では、吉野の言葉を学習活動の教材として活用することなどを考えているそうです。

参加者数…一〇名